

【基本理念】 私たちは、事業を通じて高速道路の価値と効用を高め、社会の持続的な発展と豊かな暮らしの実現に貢献します。

【活動方針】 I. 高速道路の情報拠点 II. 社会への貢献 III. 健全な経営 / 課題

高速道路を取り巻く情勢	2028年のあるべき姿(抜粋)	主な具体の行動方針	主な数値目標
少子高齢化生産年齢人口の減少	<p><公1調査研究></p> <ul style="list-style-type: none"> ニーズに合わせた世の中を先取りした調査研究を進め、成果の公表を行っている姿 若手研究者や技術者が育つ場を提供している姿 	<p><公1調査研究></p> <ol style="list-style-type: none"> 「経済・経営」、「道路・グリーンインフラ研究部会」、「交通・サービスオリシティ研究部会」の3研究部会に再編成 委員会は、若手の委員が積極的に参画できるサステナブルな構成 総合研究委員会が主催する講演会を開催 出向者が当法人の蓄積した知識やノウハウを出向元に還元 	<p>2024年度に3部会に再編成①、②、④</p> <p>特別講演会の実施③</p> <p>研究助成対象額を15,000千円に増額②</p> <p>機関誌の購読数を維持⑤、⑥、⑧</p> <p>激甚災害等が発生した場合は、直後の発行号に掲載⑥</p> <p>研究論文を学位論文の一部として評価されるような査読体制の整備⑦</p>
カーボンニュートラル	<p><公1情報提供(機関誌)></p> <ul style="list-style-type: none"> 社会情勢に合った話題を発信の場となっている姿 誰もが必要な時に機関誌掲載記事や公開図書を開覧する姿 研究成果等をまとめた書籍の出版、改訂版を発行する姿 	<p><公1情報提供(機関誌)></p> <ol style="list-style-type: none"> 「技術レポート」の表彰を新設 販売形態(紙だけ、電子だけ、紙と電子セット等)の見直し 研究論文が学位論文として評価されるよう、学識経験者委員等に働きかけ、社会的に高い評価を得る 機関誌の掲載記事を電子化し、キーワード検索が可能なプラットフォームを構築 	<p>3研究部会から年間各1編以上の「研究論文」の投稿獲得⑦</p> <p>講演会・研究発表会を東京2回・大阪1回の開催⑨</p> <p>収益事業において構築する情報システムを活用⑩</p>
自動運転	<p><公1情報提供(講演会・研究発表会)></p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外の高速道路に関する知識の普及ならびに高速道路事業への理解促進が進む姿 知識やノウハウを有した人材育成や新たな技術の普及が進む姿 	<p><公1情報提供(講演会・研究発表会)></p> <ol style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化を捉えた魅力的な講演会にするために、講演テーマや講師を選定 オンデマンド配信の継続 	<p>講演会・研究発表会を東京2回・大阪1回の開催⑨</p> <p>収益事業において構築する情報システムを活用⑩</p>
激甚災害	<p><公1情報提供(海外道路情報の収集・提供、国際道路機関との情報交換・交流)>(p.14)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各高速道路会社のニーズに基づいて情報収集と提言を当法人が主体となって行っている姿 各高速道路会社の経営判断に活用できる適時的確な情報を共有・発信している姿 	<p><公1情報提供(海外道路情報の収集・提供、国際道路機関との情報交換・交流)></p> <ol style="list-style-type: none"> 当法人でも独自に情報を集約するシステムを構築 日本の高速道路技術等のニーズに対して的確に対応できるノウハウを蓄積 	<p>各講習会、資格試験・更新講習の確実な開催(具体は本編)①～⑦</p> <p>出向社員等の海外調査団への参画 公1④</p> <p>年2回海外調査団を派遣⑧</p> <p>留学支援者に30万円の助成⑨</p>
インバウンド	<p><公2講習等(講習会)></p> <ul style="list-style-type: none"> 講習会を通じて、高速道路の建設と維持管理の業務に携わる技術者の技術力向上等を内外に提案・発信できる人材育成に貢献している姿 各高速道路会社のニーズに沿った講習会を企画・実施している姿 	<p><公2講習等(講習会)></p> <ol style="list-style-type: none"> ポストコロナ社会に対応した講習会とし、オンライン方式を主体として実施 緑地点検講習会は2024年度より開催に向け進める 適正な受講料を検証し、必要に応じ受講料を見直す 	<p>東京ビッグサイトの会場確保①</p> <p>HTF来場者2万人以上①～②</p> <p>新技術閲覧数、登録技術数ともに毎年1割増③</p>
ポストコロナ社会に対応した働き方改革	<p><公2講習等(点検診断講習・資格付与)></p> <ul style="list-style-type: none"> 高速道路における点検診断業務を的確に実施できる技術者の育成と技術力向上に貢献している姿 「点検診断資格」の知名度および位置付けが向上している姿 点検診断資格の重要度がさらに認識されている姿 	<p><公2講習等(点検診断講習・資格付与)></p> <ol style="list-style-type: none"> 高速道路会社グループだけでなく他機関の点検従事者の受験を促す オンライン方式を主体として実施 受験料を検証し、必要に応じ受講料を見直す 「緑地点検」の点検診断資格を設立、講習・試験などの手続きを策定し、資格の取得者を輩出 	<p>防災エキスパート会員数の現状維持①～②</p> <p>委託契約し、効率的に運営③</p>
2024年問題	<p><公2講習等(海外道路調査団)></p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな発見と相互理解を深めることを目的に海外道路調査団を派遣する姿 	<p><公2(海外道路調査団)></p> <ol style="list-style-type: none"> 国際道路会議等出席時に、各国の技術動向等を調査 	<p>1(億円/年)目標①</p> <p>先進国を中心とした諸外国の情報収集提供⇒情報提供システムの構築②</p>
自主研究・講演会等のテーマ	<p><公2講習等(留学支援)></p>	<p><公2留学支援></p> <ol style="list-style-type: none"> 日本道路協会が発行する『道路』への掲載や土木学会のメールマガジンへ掲載し周知を図る 	
	<p><公3展示会></p> <ul style="list-style-type: none"> 高速道路事業を支える最先端技術を紹介し、社会一般の理解が深まっている姿 企業と情報交換や広報の機会を提供し、技術の普及促進が図られている姿 	<p><公3展示会></p> <ol style="list-style-type: none"> 東京ビッグサイトの西1・2ホールでの開催を定着 適正な出展料を検証し、必要に応じ出展料を見直す 	
	<p><公3展示会(新技術等のインターネットによる情報提供)></p> <ul style="list-style-type: none"> 新技術・新工法の情報幅広く一般に情報提供している姿 新技術等の普及促進に貢献している姿 	<p><公3展示会(新技術等のインターネットによる情報提供)></p> <ol style="list-style-type: none"> 積極的なデータ登録と更新の依頼 	
	<p><公4協力・支援(防災エキスパート)></p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の支援を継続することにより、災害発生時の支援や平常時の点検・防災訓練・技術力の向上および技術の伝承が図られている姿 「防災エキスパート」事業が継続されている姿 	<p><公4協力・支援(防災エキスパート)></p> <ol style="list-style-type: none"> 各支部と活動状況の共有 当該基金の終了後も持続可能な制度の構築 	
	<p><公4協力・支援(救急救命対策)></p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性・信頼性・利便性の向上など社会に貢献する姿 	<p><公4協力・支援(救急救命対策)></p> <ol style="list-style-type: none"> 休憩施設等に設置されたAEDの使用方法等の講習 	
	<p><収益></p> <ul style="list-style-type: none"> 当法人の蓄積した知識やノウハウを活用した収益事業を継続的に展開し続けることにより、当法人の経営の安定に寄与している姿 	<p><収益></p> <ol style="list-style-type: none"> 当法人の柱となる継続的な収益事業を確立 テーマを掘り起こし、高速道路会社等に積極的に提案 	
	<p><コーポレート></p> <ol style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンス <ul style="list-style-type: none"> 基本的に交流会を開催し賛助会員との対話に努め、コンプライアンスの向上、セキュリティ強化および適切な財務管理等に引き続き取り組む パンデミックなどにも柔軟に対応できるように継続した健全な経営が可能になる組織運営を行っていく 人材マネジメント <ul style="list-style-type: none"> 効率的に業務が遂行できる人材の確保・能力の活用と豊富な実務経験や技術力を活用した業務伝承による人材育成などを実施していく 情報管理・システム管理 <ul style="list-style-type: none"> 保有する情報を有効に効果的に活用することで業務の効率化や高度化を図っていく 紙文書から電子文書での管理に移行し、情報セキュリティの維持・向上のためにセキュリティポリシーを見直し、安全に効率よく業務推進する環境を構築する 		

財務計画